

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 6 月 13 日～平成 18 年 6 月 20 日)

平成 18 年 6 月 21 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

6 月 20 日 (火)

- ・ 推進部会 (第 2 回)

【井口委員長、松尾委員、青江委員、森尾委員、野本委員】

宇宙開発に関する国内の動向

6 月 15 日 (木)

- ・ 地球環境変動観測ミッション (GCOM) シンポジウムの開催について 【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

宇宙開発に関する海外の動向

6 月 14 日 (水)

- ・ NASA、太陽探査機ジェネシス事故調査委員会の報告書を発表 【米】

6 月 13 日 (現地時間、以下同じ。)、米国航空宇宙局 (NASA) は、太陽探査機「ジェネシス (Genesis)」事故調査委員会の報告書を公表した。同報告書は、2004 年 9 月 8 日に、太陽風の微粒子を入れた試料回収カプセルを大気圏に再突入させた際に減速用パラシュートが展開せず、カプセルが地面に激突した原因を調査したもので、時系列での不具合発生状況、調査手法、直接原因、根本原因、間接要因、勧告等が記載されている。同報告書によると、直接的な原因は、設計ミスにより、重カススイッチセンサが逆向きに取り付けられていたことであり、そのため、同センサは大気圏突入時にカプセルが減速しているのを検知できず、パラシュートを展開させることができなかつたためと結論づけている。

6 月 15 日 (木)

- ・ FAA と COMSTAC、「2006 年商業宇宙輸送予測」を発表【米】

米国連邦航空局 (FAA) の商業宇宙輸送部 (AST) 及び商業宇宙輸送諮問委員会 (COMSTAC) は「2006 年商業宇宙輸送予測」を発表した。これは、今後 10 年間 (2006 年から 2015 年) の商業打上げ及び商業衛星の需要予測についてまとめたもので、毎年発表されているもの。

発表された予測によれば、10 年間の商業打上げ需要は年平均 23.6 回、打ち上げられる商業衛星は、静止軌道衛星で年平均 16.7 回、非静止軌道衛星で年平均 6.9 回となっており、昨年の予測に比べ、それぞれ約 3.5% 増、約 1.8% 増、約 7.8% 増となっている。

6月16日（金）

- ・ ソユーズロケット、地球観測衛星の打上げに成功 【露】

6月15日8時0分（世界標準時）、ロシアは、バイコヌール宇宙基地からソユーズUロケットを打ち上げ、民間用地球観測衛星「Resurs-DK1」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は、約6.7 t。

6月19日（月）

- ・ スペースシャトル「ディスカバリー号」（STS-121）を7月1日に打上げへ 【米】

6月17日（現地時間、以下同じ。）、NASAは、スペースシャトル「ディスカバリー号」（STS-121/利用補給ミッション）の打上げ日を7月1日として正式に承認した。打上げ予定時刻は7月1日15時48分。ミッション期間は約12日間。なお、打上げ可能期間は7月1日から7月19日までとなっている。

- ・ プロトンK/ブロックDM-3ロケット、通信衛星の打上げに成功 【露、カザフスタン】

6月17日22時44分（世界標準時、以下同じ。）、ロシアは、バイコヌール宇宙基地からプロトンK/ブロックDM-3ロケットを打ち上げ、カザフスタン初の衛星である静止通信衛星「KazSat」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は約1.4 t。

- ・ ゼニット3SLロケット、通信衛星の打上げに成功 【米】

6月18日7時50分、シー・ロンチ社は、太平洋赤道付近のプラットフォーム「オデッセイ」からゼニット3SLロケットを打ち上げ、PanAmSat社の静止通信衛星「Galaxy 16」の軌道投入に成功した。打上げ時の重量は約4.6 t。